



平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 ライオン株式会社

コード番号 4912 URL <http://www.lion.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 濱 逸夫

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 鎌尾 義明

TEL 03-3621-6211

四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日

配当支払開始予定日

平成27年9月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト等向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	180,283	2.1	5,698	44.0	6,647	47.4	3,898	58.1
26年12月期第2四半期	176,633	6.4	3,958	37.8	4,508	15.3	2,466	17.3

(注) 包括利益 27年12月期第2四半期 7,694百万円 (584.4%) 26年12月期第2四半期 1,124百万円 (△84.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第2四半期	14.53	13.53
26年12月期第2四半期	9.19	8.97

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第2四半期	277,703	128,563	43.8
26年12月期	283,352	127,434	42.6

(参考) 自己資本 27年12月期第2四半期 121,696百万円 26年12月期 120,635百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
27年12月期	—	5.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	375,000	2.1	14,200	14.5	15,700	11.7	8,500	15.4	31.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年12月期2Q	299,115,346 株	26年12月期	299,115,346 株
27年12月期2Q	30,994,242 株	26年12月期	31,001,366 株
27年12月期2Q	268,137,115 株	26年12月期2Q	268,224,153 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料で記述している業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、経済情勢、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、上記予想数値とは大きく異なる可能性があることを御承知おき下さい。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信【添付資料】p.71「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を御覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	8
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	8
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	8
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	8
3. 四半期連結財務諸表	9
(1) 四半期連結貸借対照表	9
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	15
(セグメント情報等)	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期の連結業績は、売上高1,802億8千3百万円（前年同期比2.1%増、為替変動の影響を除いた実質前年同期比1.3%減）、営業利益56億9千8百万円（同44.0%増）、経常利益66億4千7百万円（同47.4%増）、四半期純利益38億9千8百万円（同58.1%増）となりました。

当社グループは、本年度より開始した中期経営計画「V-2計画（*Vision 2020 Part 2*）」における4つの戦略テーマ「国内事業の質的成長」、「海外事業の量的成長」、「新しいビジネス価値の開発」、「組織学習能力の向上」にもとづく施策を推進しています。

国内事業では、台所用洗剤分野において主力ブランドでの新製品を導入するとともに、歯刷牙、制汗剤、柔軟剤等で高付加価値の新製品を発売し育成を図りました。

海外事業では、オーラルケア・ビューティケア等のパーソナルケア分野を中心に、積極的なマーケティング施策を展開し、重点ブランドの育成を図りました。

【連結業績の概況】

(単位：百万円)

	当第2四半期	売上比	前第2四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	180,283		176,633		3,649	2.1%
営業利益	5,698	3.2%	3,958	2.2%	1,740	44.0%
経常利益	6,647	3.7%	4,508	2.6%	2,138	47.4%
四半期純利益	3,898	2.2%	2,466	1.4%	1,432	58.1%

【セグメント別の業績】

(単位：百万円)

	売上高				セグメント利益（営業利益）			
	当第2四半期	前第2四半期	増減額	増減率	当第2四半期	前第2四半期	増減額	増減率
一般用消費財事業	129,293	133,056	△3,763	△2.8%	2,527	2,274	252	11.1%
産業用品事業	29,015	28,849	165	0.6%	691	1,028	△336	△32.7%
海外事業	48,749	40,333	8,416	20.9%	1,612	387	1,225	316.6%
その他	14,320	13,364	956	7.2%	494	219	275	125.5%
小計	221,378	215,603	5,774	2.7%	5,326	3,909	1,416	36.2%
調整額	△41,094	△38,969	△2,124	—	372	48	323	661.8%
合計	180,283	176,633	3,649	2.1%	5,698	3,958	1,740	44.0%

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

<一般用消費財事業>

当事業は、「オーラルケア分野」、「ビューティケア分野」、「ファブリックケア分野」、「リビングケア分野」、「薬品分野」、「その他の分野」に分かれており、全体の売上高は、前年同期に比べ2.8%の減少となりました。セグメント利益は、高付加価値品が好調に推移したことや原材料価格の低減などにより前年同期比11.1%の増加となりました。

(単位：百万円)

	当第2四半期	売上比	前第2四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	129,293		133,056		△3,763	△2.8%
セグメント利益	2,527	2.0%	2,274	1.7%	252	11.1%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第2四半期では12,746百万円、前第2四半期では12,440百万円となっております。

[売上高の分野別状況]

(単位：百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	増減額	増減率
オーラルケア分野	26,795	25,682	1,112	4.3%
ビューティケア分野	10,909	11,410	△501	△4.4%
ファブリックケア分野	36,690	40,558	△3,868	△9.5%
リビングケア分野	9,987	9,750	237	2.4%
薬品分野	17,831	17,554	276	1.6%
その他の分野	27,079	28,100	△1,021	△3.6%

(オーラルケア分野)

歯磨は、主力の「クリニカ」および「システム」シリーズを重点育成するとともに、おやすみ前の使用で、フッ素が翌朝まで口の中にとどまり、就寝中に歯を強くし、ムシ歯を予防する新製品「クリニカアドバンテージ デンタルジェル」を発売し、全体の売上は前年同期比微増となりました。

歯刷牙は、「クリニカアドバンテージ ハブラシ」が順調に推移するとともに、歯列にフィットするアーチ形状を採用し、歯の汚れをすみずみまで除去して歯周ポケットもきれいにできる新製品「システムアーチフィット ハブラシ」がお客様のご好評を得て、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

(ビューティケア分野)

ハンドソープは、「キレイキレイ 薬用泡ハンドソープ」が堅調に推移するとともに、調理で手についた生肉の脂汚れ・生魚のニオイまでしっかり落とす「キレイキレイ薬用キッチン泡ハンドソープ」を新発売し、全体の売上は前年同期比微増となりました。

制汗剤は、「ナノイオン殺菌成分」がワキのニオイを長時間ブロックする新製品「Ban[®]ニオイブロックロールオン」がお客様のご好評を得ましたが、パウダースプレーが伸びなやみ、全体の売上は前年同期を下回りました。

(ファブリックケア分野)

洗濯用洗剤は、超コンパクト液体洗剤「トップ NANO X」、^{ナノノックス}「トップ HYGIA」の育成に注力しましたが、粉末洗剤の市場規模縮小等の影響を受け、全体の売上は前年同期を下回りました。

柔軟剤は、奥深い香りが1日中続く「香りとデオドラントのソフラン アロマリッチ」シリーズが好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

(リビングケア分野)

台所用洗剤は、ベタつく油汚れを水のようにサラサラ落とす“ナノ洗浄”で食器洗いが手早く片づく新製品「CHARMY MAGICA」^{チャーミーマジカ}がお客様のご好評を得て、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

住居用洗剤は、浴室用カビ防止剤「ルック おふろの防カビくん煙剤」、トイレ用洗剤「ルックまめピカ トイレのふき取りクリーナー」の育成に注力しましたが、全体の売上は前年同期を下回りました。

(薬品分野)

解熱鎮痛薬は、高付加価値品の「バファリン プレミアム」が好調に推移しましたが、主力の「バファリンA」が伸びなやみ、全体の売上は前年同期を下回りました。

点眼剤は、高付加価値品の「スマイル40 プレミアム」や「スマイル40 E X」^{イーエックス}「ゴールドマイルド」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

(その他の分野)

通信販売商品は、エイジングヘアケアシリーズ「Fleuria」^{フルリア}が好調に推移しましたが、機能性食品等で、主力の「ナイスリムエッセンス ラクトフェリン」が伸びなやみ、全体の売上は前年同期を下回りました。

ペット用品は、猫用トイレの砂「ニオイをとる砂」が堅調に推移しましたが、全体の売上は前年同期比横ばいとなりました。

＜産業用品事業＞

当事業では、導電性カーボン、界面活性剤、業務用洗浄剤等を取り扱っており、全体の売上高は、前年同期の駆け込み需要の反動の影響を受けましたが、昨年4月より一部関係会社を連結子会社としたため、前年同期比0.6%の増加となりました。セグメント利益は、前年同期比32.7%の減少となりました。

(単位：百万円)

	当第2四半期	売上比	前第2四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	29,015		28,849		165	0.6%
セグメント利益	691	2.4%	1,028	3.6%	△336	△32.7%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第2四半期では14,121百万円、前第2四半期では13,134百万円となっております。

導電性カーボンは、リチウムイオン電池などの2次電池向けカーボンブラックが堅調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

界面活性剤は、洗剤向けの原料等が伸びなやみ、全体の売上は前年同期を下回りました。

業務用洗浄剤は、厨房向け消毒用アルコールが好調に推移するとともに、ハンドソープが堅調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

＜海外事業＞

海外は、タイ、韓国、中国等において事業を展開しており、全体の売上高は、前年同期比20.9%の増加(為替変動の影響を除いた実質前年同期比5.3%の増加)となりました。セグメント利益は、前年同期比316.6%の増加となりました。

(単位：百万円)

	当第2四半期	売上比	前第2四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	48,749		40,333		8,416	20.9%
セグメント利益	1,612	3.3%	387	1.0%	1,225	316.6%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第2四半期では3,225百万円、前第2四半期では2,064百万円となっております。

(主要国の状況)

タイでは、「植物物語」ボディソープが堅調に推移するとともに、「^コド^ドモ^モ」ブランドのオーラルケアシリーズが好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。なお、為替変動の影響を受け円貨換算では大幅に上回りました。

韓国では、「システム」歯磨や「キレイキレイ」ハンドソープが好調に推移しましたが、洗濯用洗剤「ビート」が伸びなやみ、全体の売上は前年同期比微増となりました。なお、為替変動の影響を受け円貨換算では大幅に上回りました。

中国では、「システム」歯刷牙が順調に推移するとともに、日本製品の輸入販売が増加し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。また、円貨換算でも大幅に上回りました。

＜その他＞（建設請負事業等）

（単位：百万円）

	当第2四半期	売上比	前第2四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	14,320		13,364		956	7.2%
セグメント利益	494	3.5%	219	1.6%	275	125.5%

（注）売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第2四半期では11,000百万円、前第2四半期では11,329百万円となっております。

（2）財政状態に関する説明

①当四半期における資産、負債および純資産の状況

（連結財政状態）

	当第2四半期 連結会計期間末	前連結会計年度末	増減
総資産（百万円）	277,703	283,352	△5,649
純資産（百万円）	128,563	127,434	1,128
自己資本比率※1（%）	43.8	42.6	1.2

※1：自己資本比率は、（純資産－新株予約権－少数株主持分）／総資産で計算しています。

総資産は、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末と比較して56億4千9百万円減少し、2,777億3百万円となりました。純資産は、11億2千8百万円増加し、1,285億6千3百万円となり、自己資本比率は43.8%となりました。

②当四半期におけるキャッシュ・フローの状況

（連結キャッシュ・フロー）

（単位：百万円）

	当第2四半期	前第2四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,697	981	3,716
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,775	△10,745	7,970
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,966	15,596	△17,562
換算差額	△28	△195	166
増減額	△72	5,637	△5,709
現金及び現金同等物の四半期末残高	38,077	54,578	△16,500

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少等により、46億9千7百万円の資金の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により、27億7千5百万円の資金の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当の支払いによる支出等により、19億6千6百万円の資金の減少となりました。

以上の結果、当第2四半期の現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ7千2百万円減少し、380億7千7百万円となりました。また、前第2四半期末に比べて165億円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想は、平成27年7月31日発表のとおり、当初予想（平成27年2月10日発表）を修正しております。

詳細につきましては、発表資料「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(当期業績予想値算出の前提条件)

第3四半期以降における主要な為替レートは、125円/米ドル、3.6円/バーツとしています。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の前平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率を使用する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が4,106百万円減少、退職給付に係る負債が3,161百万円増加、利益剰余金が4,680百万円減少しております。なお、これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,008	16,981
受取手形及び売掛金	59,007	53,350
有価証券	24,448	24,596
商品及び製品	25,270	26,736
仕掛品	4,605	5,856
原材料及び貯蔵品	9,489	9,311
その他	5,396	5,317
貸倒引当金	△51	△52
流動資産合計	146,175	142,098
固定資産		
有形固定資産	79,275	78,156
無形固定資産		
商標権	7,197	5,813
その他	1,909	1,690
無形固定資産合計	9,106	7,504
投資その他の資産		
投資有価証券	34,438	38,663
その他	14,388	11,312
貸倒引当金	△31	△31
投資その他の資産合計	48,794	49,944
固定資産合計	137,176	135,605
資産合計	283,352	277,703
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	46,590	42,071
短期借入金	12,602	12,149
1年内返済予定の長期借入金	116	116
未払金及び未払費用	45,123	42,572
未払法人税等	3,336	1,955
賞与引当金	2,631	1,293
返品調整引当金	525	501
販売促進引当金	894	1,172
役員賞与引当金	256	142
その他	3,459	2,934
流動負債合計	115,537	104,909
固定負債		
新株予約権付社債	14,430	14,494
長期借入金	2,448	2,381
役員退職慰労引当金	448	457
退職給付に係る負債	18,526	22,297
資産除去債務	344	342
その他	4,182	4,256
固定負債合計	40,380	44,230
負債合計	155,918	149,139

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,433	34,433
資本剰余金	31,499	31,499
利益剰余金	66,095	63,967
自己株式	△16,827	△16,831
株主資本合計	115,201	113,069
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,912	11,207
繰延ヘッジ損益	△0	-
為替換算調整勘定	3,339	3,046
退職給付に係る調整累計額	△5,816	△5,626
その他の包括利益累計額合計	5,434	8,627
新株予約権	910	925
少数株主持分	5,888	5,941
純資産合計	127,434	128,563
負債純資産合計	283,352	277,703

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
売上高	176,633	180,283
売上原価	77,229	78,846
売上総利益	99,404	101,437
販売費及び一般管理費	95,445	95,738
営業利益	3,958	5,698
営業外収益		
受取利息	84	66
受取配当金	369	414
持分法による投資利益	297	430
受取ロイヤリティー	127	151
為替差益	28	77
その他	199	198
営業外収益合計	1,106	1,338
営業外費用		
支払利息	370	222
社債利息	21	64
その他	164	102
営業外費用合計	556	390
経常利益	4,508	6,647
特別利益		
段階取得に係る差益	477	-
負ののれん発生益	97	-
投資有価証券売却益	-	139
固定資産処分益	-	615
その他	34	-
特別利益合計	609	755
特別損失		
固定資産処分損	147	781
減損損失	90	173
特別損失合計	237	955
税金等調整前四半期純利益	4,880	6,447
法人税、住民税及び事業税	1,242	1,300
法人税等調整額	911	613
法人税等合計	2,154	1,913
少数株主損益調整前四半期純利益	2,726	4,533
少数株主利益	259	635
四半期純利益	2,466	3,898

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,726	4,533
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△918	3,325
繰延ヘッジ損益	△26	0
為替換算調整勘定	△632	△184
退職給付に係る調整額	—	190
持分法適用会社に対する持分相当額	△24	△170
その他の包括利益合計	△1,601	3,160
四半期包括利益	1,124	7,694
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	995	7,090
少数株主に係る四半期包括利益	129	603

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,880	6,447
減価償却費	4,996	5,406
減損損失	90	173
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	959	-
退職給付に係る資産及び負債の増減額 (△は減少)	-	1,210
受取利息及び受取配当金	△454	△481
支払利息	370	222
社債利息	21	64
固定資産処分損益 (△は益)	147	166
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△139
持分法による投資損益 (△は益)	△297	△430
負ののれん発生益	△97	-
段階取得に係る差損益 (△は益)	△477	-
売上債権の増減額 (△は増加)	8,963	5,530
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,892	△2,588
仕入債務の増減額 (△は減少)	△11,180	△4,454
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△680	△3,665
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	232	450
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△629	△277
その他	15	△880
小計	2,967	6,755
利息及び配当金の受取額	929	726
利息の支払額	△277	△117
法人税等の支払額	△2,637	△2,666
営業活動によるキャッシュ・フロー	981	4,697
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	947	800
有形固定資産の取得による支出	△10,187	△4,608
有形固定資産の売却による収入	11	781
無形固定資産の取得による支出	△42	△28
投資有価証券の取得による支出	△330	△69
投資有価証券の売却による収入	28	238
投資有価証券の償還による収入	500	-
貸付けによる支出	△0	△13
貸付金の回収による収入	0	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,418	-
子会社株式の取得による支出	△386	-
その他	130	125
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,745	△2,775

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	8,498	5,226
短期借入金の返済による支出	△7,074	△5,350
長期借入れによる収入	2,107	-
長期借入金の返済による支出	△1,208	△58
社債の発行による収入	14,983	-
自己株式の取得による支出	△19	△28
自己株式の処分による収入	0	0
配当金の支払額	△1,345	△1,321
少数株主への配当金の支払額	△332	△397
その他	△13	△37
財務活動によるキャッシュ・フロー	15,596	△1,966
現金及び現金同等物に係る換算差額	△195	△28
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,637	△72
現金及び現金同等物の期首残高	48,941	38,150
現金及び現金同等物の四半期末残高	54,578	38,077

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	一般消費財 事業	産業用品事業	海外事業				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	120,615	15,714	38,268	2,034	176,633	—	176,633
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高(注)1	12,440	13,134	2,064	11,329	38,969	△ 38,969	—
計	133,056	28,849	40,333	13,364	215,603	△ 38,969	176,633
セグメント利益	2,274	1,028	387	219	3,909	48	3,958

(注) 1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額48百万円は、内部取引消去額等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	一般消費財 事業	産業用品事業	海外事業				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	116,546	14,893	45,524	3,319	180,283	—	180,283
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高(注)1	12,746	14,121	3,225	11,000	41,094	△ 41,094	—
計	129,293	29,015	48,749	14,320	221,378	△ 41,094	180,283
セグメント利益	2,527	691	1,612	494	5,326	372	5,698

(注) 1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額372百万円は、内部取引消去額等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。